

平成25年度 笑顔輝く地域づくり支援事業 実績報告

番号	団 体 名
1	上浦幌スポーツ交流実行委員会
2	とかちうらほろアーティスト・イン・レジデンス
3	上浦幌子ども会
4	うらほろ和ごころ体験塾
5	子育てサークルにじいろスイッチ

※内容は、各団体の報告書をそのまま記載することを原則に、一部要約させていただいています。

1	団 体 名	上浦幌スポーツ交流実行委員会
	事 業 名 称	上浦幌スポーツ交流事業
	事業の内容	上浦幌スポーツ交流実行委員会（有志団体）が上浦幌地域に呼び掛けをし、ソフトボール大会を8月31日（土）午後2時より上浦幌中央小学校グラウンドにおいて開催した。 21名が参加し、2チームに分かれて試合を行い、交流を深めた。
	支援の内容	・補助金の額 63,473円（補助事業に要した経費：72,065円） ・公共施設の利用 ・行政区回覧による周知
	事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボールを通じて幅広い年齢層の交流ができた。 ・来年も実施してほしいとの声が多かった（若年層）。 ・地域や自治体の協力なしでは実施できなかった。 <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員3名では人手不足により運営が困難。 ・雨天の場合の予備日を設けた方が良かった。 ・周知は、町広報と一緒に回覧したが、見ていない人が多かった。 ・期待していた40代、50代の参加が少なかった。

2	団 体 名	とかちうらほろアーティスト・イン・レジデンス
	事 業 名 称	とかちうらほろアーティスト・イン・レジデンス事業
	事業の内容	<p>地域産業や産品、自然や産業基盤整備によって形成された景観など魅力あふれる十勝には豊かなライフスタイルがある中、それらのさらなる洗練化が期待されている。そこで、自治体を超えた緩やかで多様な繋がりや、地域資源を活性化・洗練化する活動の触媒として、よそ者・若者・ばか者（常識に捉われない発想をする人）であるアーティストを海外・国内から招へいし、地域が創造的に変化する原動力の向上を図る。さらにその交流過程を記録・編集した動画をインターネットで公開し、地域の発信力を高める。</p> <p>●とかちアーティスト・イン・レジデンス 国内外のアーティストが滞在する期間に地域との交流を図る過程を記録し、作品制作とその成果発表を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期：10月中旬～11月末 ・内容：ワークショップの実施・作品制作・成果発表 ・対象：アーティストと一般住民等 <p>●とかちアート・カフェ 地域の新鮮で安心な素材を使った美味しく美しい食べ物を活用し、豊かな地域の生活様式を楽しむ場として仮設カフェを開設する。</p>
	支援の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の額 500,000円（補助事業に要した経費：1,162,920円） ・公共施設の利用 ・広報誌等による周知 ・後援名義の使用
事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アート・イベントを通じた域外との交流によって、非日常的な豊かな発想を持つ機会の創出と、十勝に親和性を持つ海外アーティストの育成を行った。 ・管内の魅力的な場所・食・産業・人をアートによって繋ぎ、地域の人材発掘や、地域資源の洗練化に文化的な視点を投じたパッケージ化を試み、広域的取り組みを創発する可能性を高め、次年度の取組みに繋がった（複数自治体での開催希望）。 ・SNSやHP、新聞社取材との複合的な活用で地域発信力の向上があった。 <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における周知に課題が残った。 	

3	団 体 名	上浦幌子ども会
	事 業 名 称	スノーフェスティバル事業
	事業の内容	上浦幌地域の子どもの居場所づくり、心身の健全な成長、子どもの相互の連携と親睦、親子のコミュニケーションを醸成することを目的とする。 スノーフェスティバル事業では、スノーラフティングや宝探しゲーム、ストラックアウト、ソリすべりなどの雪遊びを実施した。
	支援の内容	・補助金の額 200,000円（補助事業に要した経費：221,650円） ・公共施設の利用 ・広報誌等による周知
	事業評価等	<p>■事業評価 A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通して子ども達の居場所作りができ、子ども間の親睦・連携が深まった。 ・親がイベントを企画・運営することにより親子のコミュニケーション作りのきっかけになった。 ・上浦幌地域の施設を活用することによって、地域に子どもの声が届き、活性化につながったのではないかと。 <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候条件に左右されるので、開催時期の決定が難しい。 ・多くの人達を限られた場所に対応するのは難しい。 ・イベントの告知と参加人数の確保に苦労した。 ・主催者側の人数が少なく準備と運営が大変であった。

4	団体名	うらほろ和ごころ体験塾
	事業名称	うらほろ和ごころ体験塾事業
	事業の内容	<p>日本伝統文化の「和」の心、地域間の「和」の心、世代間の「和」の心を育むための活動を行う。伝統文化体験事業を開催し、日本人としての感性、心の豊かさを養い、郷土の伝統文化の継承、普及に努める。</p> <p>また、地域の方々と世代を超えて幅広く交流し、礼儀作法や道徳を学びながら、将来を担う子どもたちの健全育成を図る。</p> <p>5月26日 食事と健康についての学習・蓬餅つき 35名参加 6月29日 詩吟鑑賞と茶道体験 42名参加 7月27日 雅楽鑑賞と雅楽器に触れる体験・流しそうめん体験 110名参加 11月30日 そば打ち体験 40名参加 1月18日 百人一首体験・餅つき体験 29名参加 2月11日 郷土芸能学習（獅子舞） 40名参加 3月22日 家族での防災学習 50名参加</p>
	支援の内容	・補助金の額 154,131円（補助事業に要した経費：246,531円）
事業評価等	<p>■事業評価 A（計画通り実施でき、予想以上の成果が得られた）</p> <p>■成果（上記の理由等） 四季折々の企画した事業に多くの方に参加していただき、有意義な活動ができた。また、事業を通じて三世代の親睦交流が図れた。今年で3回目となる防災学習では、年々地域防災への意識が高まっていることを感じた。 活動を浦幌町と共催することで、参加人数も増え、事業内容ともに充実した活動ができた。</p> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 土曜日、日曜日は少年団活動（大会等）と重なるため、事業の日程調整が難しい。</p>	

5	団体名	子育てサークルにじいろスイッチ
	事業名称	映画「うまれる」とかちリレー上映会（浦幌）事業
	事業の内容	<p>映画「うまれる」上映会を開催。出産、死産、不妊、障害、胎内記憶などさまざまな経験をされる4組の夫婦の生の姿をドキュメンタリーで描いた映画「うまれる」を鑑賞し、自分たちが生まれた意味や命の大切さ、家族の絆、人との繋がり、地域との繋がりを考え、見つめ直すきっかけをつくる。</p> <p>虐待防止キャンペーンにも参加し、少しでも虐待がなくなっていくことを願い実行した</p>
	支援の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の額 41,205円（補助事業に要した経費：195,805円） ・公共施設の利用 ・広報誌等による周知
事業評価等	<p>■事業評価 B（ほぼ計画通りに実施でき、予想していた程度の成果が得られた）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>■成果（上記の理由等） 計画通りに実施できたが、予定人数には達しなかった。しかし、来場者には満足をいただいた。上映後に良い映画だったと声を掛けていただくことも多数あった。思っていたより、年配の方や男性の方に来場いただき、良かった。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>■事業を実施する中で難しかったこと等（反省・問題点） 集客が難しいと感じた。口コミで広めていかないとなかなか前売りのチケットは購入していただけない。自分たちが活動をしている繋がりでは、小学生のお子さんがある親の繋がりが乏しく見ていただきたいと思っていた層の方は少なく感じた。</p>	